

2024年度 第3回 佐鳴台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024年12月13日（金） 14時00分から15時30分
- 2 開催場所 佐鳴台小学校 会議室
- 3 出席委員 辻 博康、野嶋 京登、大西真理子、橋本 博行、嶋津 歌絵、山下さおり
羽広 雄太
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 諏訪部高央（佐鳴台協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 結城 真澄
- 7 学 校 染葉 泰伸（校長）、畠山 徹（教頭）
待井 香世（CS 担当教職員）、朝倉 君江（CS ディレクター）
- 8 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 朝倉 君江
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から羽広委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）算数サポーターの活動について
- （2）昼休み等の見守り活動について
- （3）今後の学校支援活動の方向性について

13 会議記録

司会の待井から、委員総数7人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）算数サポーターの活動について

議長の指示により、待井から、別紙資料に基づき算数サポーター【さなレンジャーSMILE(元教員)】の活動について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 元教員関係の増員が必要ならば、地域を佐鳴台地区だけでなく広げてみてはどうか？（大西委員）
- ・ 民生委員としてそろばんに入らせてもらっているが、子供と一緒に学ばせてもらっている。（嶋津委員）
- ・ 先生が言っている内容への理解だけでなく、児童が言っている内容も理解できる力がサポーターには必要になると思う。（橋本委員）
- ・ 増やす方法はいくつかあると思うが、増やした後のリスク管理を整えてからの方がイメージしやすいのではないか。（羽広委員）
- ・ T1：担任、T2：SMILE、T3：保護者等はどうか？T2がT3へ元教員のノウハウを教えていけば次世代育成にもつながるのではないかと。T3へ教員免許をもっていない人が入り込んでも大丈夫なのか。（羽広委員）

→あくまでも授業はT1(教員)。T2、T3は支援員としてサポートは可能。（教頭）

- ・ 親は学校での子供の様子が分かりにくい。担任だけでは指示が大変な児童などの環境を整えるためにも保護者がサポーターとして入るのは良いのではないか。子供たちは、同じ学年の保護者の言うことをよく聞くことがある。(辻委員)
- ・ 彫刻刀のサポーターに何度か入っているが、算数サポーターも同じようであれば保護者から集まるのではないか。(野嶋委員)
- ・ 学校として「拡充」がテーマだと思うが、現状で良いのか、どこまで増員したいのか、もう少しはっきりすると、案も出やすいと思う。(野嶋委員)
- ・ サポーターが入ることにより、個々がどのようなことでつまづいているのかを教員1人よりもつかみやすく対応しやすくなるのではないかと思う。(山下委員)

(2) 昼休みの見守り活動について

議長の指示により、待井から、昼休みの見守り活動について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 遊びの場に出てこないで教室にいる子もいると思う。そういう子の様子を見に行ってみたい。(嶋津委員)
- ・ 空き教室を居場所作りとして外部の人との交流ができる場をつくと良いと思う。(羽広委員)
- ・ 昼休み等に行けば話を聞いてくれる人がいるという部屋があると良いが、人材や空き教室の確保が難しい。(大西委員)

(3) 今後の学校支援活動の方向性について

- ・ このことについては、本日の熟議「(1) 算数サポーターの活動」「(2) 昼休み等の見守り活動」の中で話題となったので、今後も皆で良い意見を出し合いながら進めて行きましょう。(羽広委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・ 7・8・9・10・11月の学校支援活動について
- ・ コーディネーター研修会の報告(結城コーディネーター)
- ・ 次回は、令和7年2月19日(水)に開催